

—●—|||—●—

CHASEBLISS

A U D I O



WARPED VINYL HiFi

取扱説明書

(株) アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。
無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

アナログかつ HiFi、新次元のアナログコーラス/ビブラート。

Warped Vinyl はダメージを受けたオールドレコードの音飛びや、音のゆらぎからヒントを得て生まれたペダルです。ですが Warped Vinyl が持つトーンバリエーションはそれだけではありません。この“トゥルーピッチな”アナログコーラス/ビブラートペダルはフルアナログ回路を搭載、コーラス/ビブラートペダルが持つ無限大のトーンをパレットに描くことができます。HiFi バージョンは lag コントロールによる瑞々しいサウンド、より低減されたノイズ、透明感がありブライトなサウンドにも対応し以前のバージョンから更にパワーアップしています。他の Chase Bliss Audio のペダルと同様、全ての設定はプリセットに保存して簡単に呼び出すことができ、エクスプレッションペダル/CV でもコントロールが可能です。全てのノブとスイッチは小さなデジタルブレインに接続されていますが、ギターのスIGNALはデジタル処理されることなく、100%アナログのまま出力されます。エフェクトコントロールをデジタル制御することで、今までのアナログタイプのエフェクターでは不可能だった新感覚のトーン/コントロールを実現しています。

TONE (RAMP)

シンプルに言えば、これは魔法のノブです。ramp 機能にどの dip スwitch もアサインされていないとき、このノブはコーラスエフェクトやビブラートのピッチバンドのトーンコントロールとして機能します。トーンコントロールはドライ音には影響しません。12 時方向あたりでほぼ色付けの無い設定、右回りで低域を削り、左回りで高域をカットしていく設定です。ramp 機能を使うと、デジタルコントロールにより、他のすべてのパラメーター (lag, mix, rpm, depth, warp) を個別に、または自由に組み合わせることでこのノブに割り当てて操作をすることが出来ます。モジュレートやランプ・アンド・ホールド (rise, fall モード) を後ろにある dip スwitch で設定することで、パラメーターが変わる幅や変わる方向を決めることができます。その場合、このノブは割り当てたパラメーターを可変させるタイム (ramp タイム) を調整します。

LAG

lag はエフェクトとドライ音のレイテンシーを調整します。ディレイタイムを調整するとも言えるでしょう。lag ノブを右に回すとエフェクトとドライ信号のディレイタイムが長くなっていき、瑞々しく滑らかなトランスディショナルなコーラスサウンドになります。lag を高くしていくと、エフェクトに僅かなノイズが混ざっていくことに注意してください。MIX を 100% にして (エフェクト音のみの出力にして) ビブラートモー

ドを使うときは、lag ノブを左に回し切ることでギタープレイとエフェクトのレイテンシーを限りなくゼロに設定できます。この設定は最もノイズが少ない設定になります。

MIX

100%ウェット（エフェクト音のみ）から 100%ドライまで設定可能な、エフェクト音とドライ音のミックスバランスを調整するノブです。12 時付近まではスムーズなコーラス、右に回していくとビブラートサウンドに近づいていきます。MIX ノブと TONE ノブはお互いに密接に関わっているため、どちらか一方を設定したらまた一方も微調整するのがお勧めです。

RPM

コーラス/ビブラートのレートを調整します。レートはタップテンポスイッチでも設定ができ、その場合このノブの設定は上書きされます。

1/2/4 (3/6/8) (R/-/+) トグルスイッチ

タップテッポに対するサブディビジョンを選択できます。通常は 1 倍/2 倍/4 倍で設定されますが、ペダル背面の dip スイッチで括弧内の倍率で設定することも出来ます。ramp 機能が有効なときは、このフットスイッチで ramp の速さを設定することが出来ます。その場合実際に ramp で設定されるテンポはこのスイッチで設定したテンポの半分になります。(R/-/+)はホールドモード時の動作を設定します。

DEPTH

ビブラートの深さ、またはコーラスのモジュレーションの深さを調整します。右に回していくと強烈で激しいビッチバンドを起こします。初代の Warped Vinyl より更にクレイジーでワイドなモジュレーション幅になっているので、楽しんで下さい。

WARP

モジュレーションのセンターポイントを設定します。右に回すと立ち上がりが速く、戻りが緩やかな波形になります。左に回すと立ち上がりは遅く、戻りが早くなる波形になります。12時方向で対照的な波形となります。

波形切り替えトグルスイッチ（左側）

モジュレーションの波形が立ち上がる時の波形を3種類から選択できます。左が正弦波、中央が三角波、右が矩形波です。

波形切り替えトグルスイッチ（右側）

モジュレーションの波形が立ち上がりから戻る時の波形を左が正弦波、中央が三角波、右が矩形波です。

デブス、揺れ、波形切り替えのトグルから構成される ModuShape エンジンにより、かつて無いコントロールを実現しています。

BYPASS フットスイッチ

エフェクトのオンオフを切り替えます。ペダル背面の dip スイッチによりモーメンタリーバイパスにすることも出来ます。Warped Vinyl はリレーを用いたトゥルーバイパスで、スイッチングに圧倒的な静音性を実現しています。

TAP/HOLD フットスイッチ

通常、このフットスイッチはタップテンポの設定に使用します。タップテンポは最後に入力されたテンポに常に追従します。dip スイッチで hold モードを有効にしている時、フットスイッチを長押しすることで ramp 機能をトリガーすることが出来ます。R/-/+トグルスイッチが-ポジションの時は、フットスイッチを長押しするとヴィブラートの LFO を一時的に無効にします。+の時はフットスイッチを長押しで LFO を有効にします。

下のトグルスイッチ (プリセットスイッチ)

一番下にあるスイッチはプリセットの呼び出しに使用します。右側のポジションでプリセット#1、左側でプリセット#2 を呼び出します。真ん中のポジションは常に現在のノブ、トグルスイッチ、dip スイッチの設定を呼び出します。トグルスイッチ右側のポジションに現在の設定をプリセットとして保存するには、まず右側のフットスイッチ (bypass) を 3 秒長押しし、そのまま bypass を押しながら tap/hold のスイッチも同時に 3 秒押しします。LED が点滅し、設定がプリセットに保存されます。トグルスイッチ左側のポジションにプリセットを保存したい場合は、左のフットスイッチの長押しから始めて同じ動作をします。プリセットを呼び出している状態でノブを動かしたりして設定を変更すると、プリセットスイッチ上の LED が暗くなります。これは元々のプリセット設定から何かが変わったことを表します。この変更をプリセットに反映したい場合は、再度設定をプリセットに保存する必要があります。

IN / OUT

1/4"モノインプットジャックです。

EXP / CV

エクスプレッションペダルを接続する 1/4" TRS ジャックです。エクスプレッションペダルでコントロールするパラメーターは、背面の dip スイッチで選択できます。tip はワイパーに接続して下さい。弊社では Roland EV-5 にて動作確認をしています。スタンダードなエクスプレッションペダルがご利用いただけますが、ご不明点があればお問い合わせ下さい。

0-5V の CV (コントロールボルトテージ) を受けることも出来ます。その場合リングがフローティングされるようにして下さい。

TAP / MIDI

外部タップテンポスイッチを繋ぐことができます。また、タップテンポの信号を出力することもできます。

Chase Bliss MIDIBOX, または Empress Effects MIDIBOX を使用すると、MIDI クロックでペダルをコントロールすることが出来ます。MIDI については巻末の項目を御覧ください。

電源について

消費電力 70mA、2.1mm 9VDC センターマイナスのパワーサプライで動作します。9V 電池での駆動も可能ですが、消費電力が高いため電池残量には注意して下さい。

EXP / CV コントロールと dip スイッチ

「on, off」側にある Lag, Mix, RPM, Depth, Warp の dip スイッチで、エクスプレッションペダル/CV でコントロールするパラメーターを割り当てることができます。一つだけでも、複数同時でも操作できます。ペダルはエクスプレッションペダルまたは CV かを自動的に識別します。

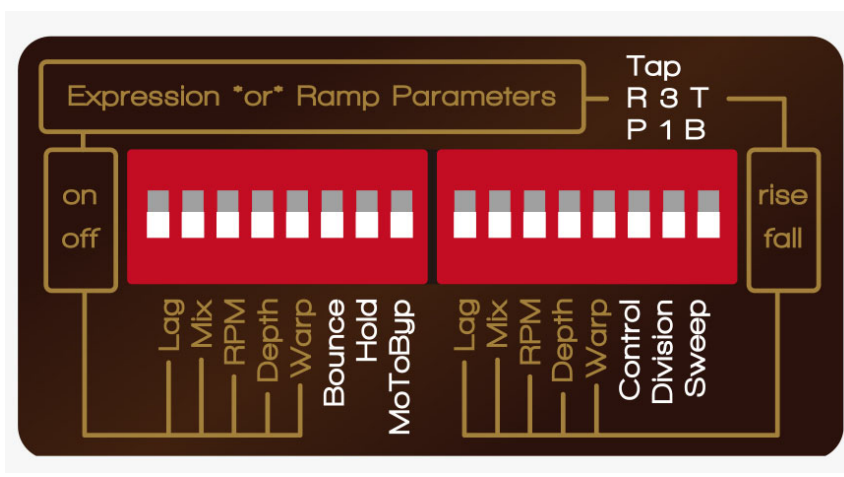
エクスプレッションペダル/CVを使ったピッチベンドのダイレクトコントロール

EXP/CV ジャックに何らかを繋いで、かつ dip スイッチで何も割り当てていない場合、ビブラートのピッチベンドをエクスプレッションペダルまたは CV でコントロールすることが出来ます。ちょうど”Whammy”のアナログバージョンのようなトーンになります。ピッチベンドさせる幅は depth ノブで決定します。最小から最大まで全ての幅をコントロールしたい場合は、depth ノブを右へ回しきります。

EXP / CV のレンジの調整

エクスプレッションペダルと CV のコントロールレンジ（パラメーターの設定可能な幅）は、ノブのポジションと後ろの sweep の dip スイッチで決定します。例えばエクスプレッションペダルに MIX コントロールを割り当てて、100%ドライなサウンドからコーラスエフェクトまでをペダルでコントロールしたいとき、まずは Sweep を B（Bottom）ポジションにセットします。MIX ノブは 12 時辺りに設定すると、エクスプレッションペダルで MIX ノブの左回し切りから 12 時方向までの値をコントロールできるようになります。調整する MIX 幅を更に広げたい場合は、MIX ノブをもう少しだけ上げます。様々なパラメーターを同時に可変させることが出来ますが、それぞれのノブで可変幅は微調整できます。

dip スイッチについて



dip スイッチの設定は最初は難しく複雑に感じると思います。初めてペダルを使用するときは、まずは dip スイッチのことは忘れてプレイしてみてください。ベーシックな機能を把握したあと、その後更に必要な機能に合わせて dip スイッチを設定すると、うまくいくと思います。

※プリセットを保存すると、dip スイッチの設定も全てプリセットに保存されます。

※ramp の動き（各パラメーターの動き）は、バイパスごとにリセットされます。エフェクトを ON にしたあと、各パラメーターは dip スイッチの設定に関わらずノブの位置に設定されます。

・「on off」側の **Lag, Mix, RPM, Depth, Warp** : RAMP ノブ、エクスプレッションペダル、CV にパラメーターのコントロールを割り当てます。

・「rise, fall」側の **Lag, Mix, RPM, Depth, Warp** : パラメーターを RAMP ノブに割り当ててコントロールしたとき、ノブを右に回してパラメーターが上がる (rise) または下がる (fall) を決定します。エクスプレッションペダルを接続しているときは、エクスプレッションペダルでパラメーターを操作するときにはペダルの踏み込みでノブが右回しになる=rise モード、ペダルの踏み込みでノブが左回しになる=fall モードを設定します。

・ **Bounce** : このスイッチを on にしてかつエクスプレッションペダルが接続されていないとき、各パラメーターは自動的に可変します。(モジュレートします)

・ **Hold** : TAP/HOLD フットスイッチでホールド機能を有効にします。このスイッチが有効な時、R/-/+ トグルスイッチが有効になります。

・ **MoToByp** : モーメンタリーバイパスを有効にします。BYPASS フットスイッチを押している間だけエフェクトをオンにします。

・ **Tap Control** : “R”の位置では Ramp のレートを、“P”の位置ではモジュレーションのスピード (RPM) をタップテンポで設定します。RAMP に割り当てたパラメーターをモジュレートさせるスピードを設定したいときは、R のポジションが最適です。RAMP ノブに割り当てたパラメーターをモジュレートさせたいときは、Bounce スイッチがオンになっている必要があります。

・ **Sweep** : Sweep : RAMP ノブとエクスプレッションペダルの可変幅を設定するのに使います。

T (Top) ではエクスプレッションペダルの可変幅が現在のノブのポジションから最大値までの間で設定されます。B (Bottom) では可変幅が現在のノブのポジションから最小値の間に設定されます。

サンプル設定

これらのサンプル設定の実際のサウンドは弊社ホームページ、または soundcloud.com/chaseblissaudio で試聴することができます。



MEMORY



THE WHARF



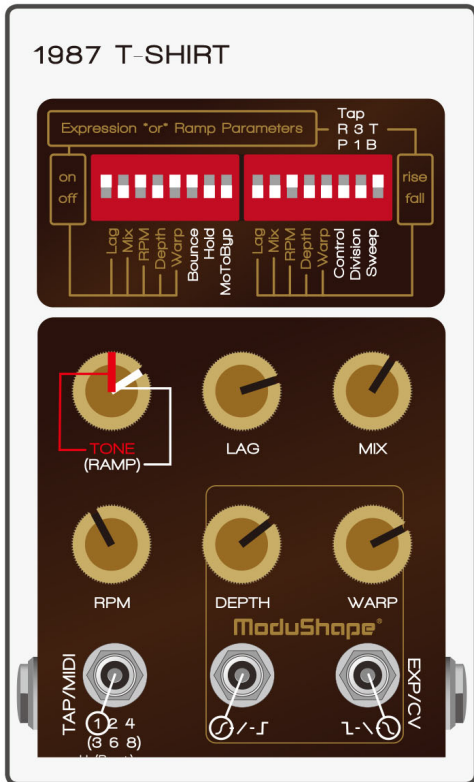
NOW AND THEN



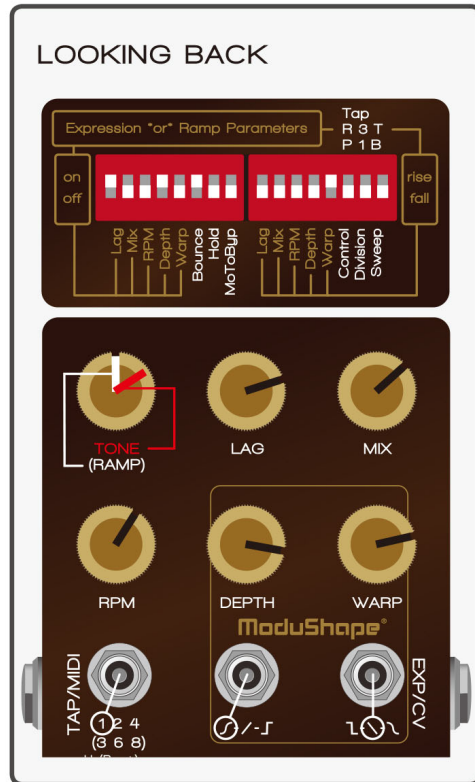
PASADENA



1987 T-SHIRT



LOOKING BACK



MOTORCYCLE



HOLLYWOOD CRUISING



MIDI について

Warped Vinyl は全てのパラメーターを MIDI コントロールメッセージで操作することが出来ます。プリセットの呼び出しと保存も MIDI を介して操作できます。

Warped Vinyl で MIDI を使用するには、まず以下に従って下さい。

1. Chase Bliss MIDIBOX を用意し、Warped Vinyl の TAP/MIDI ジャックと MIDIBOX をスタンダードな 1/4"TRS ケーブルで接続します。Chase Bliss 製以外の MIDIBOX を使用する場合、tip とリングを反転させる改造が必要になる場合があります。詳しくは国内代理店までお問い合わせ下さい。
2. デフォルトでは Warped Vinyl は MIDI チャンネルの 2 に設定されていますが、必要であれば他のチャンネルへ変更できます。変更したい場合、TAP と BYPASS スイッチを長押ししながら電源を入れます。その後設定したい MIDI チャンネルのメッセージを Warped Vinyl に送信します。

MIDI を使ったプリセットの呼び出し

MIDI のプログラムチェンジメッセージを送ることでプリセットを呼び出すことが出来ます。例えば、プログラムチェンジメッセージの 1 はプリセット 1 を呼び出します。プリセットスロットは 122 まで使用できます。スロット 1 と 2 はペダルのプリセットトグルスイッチを使って直接保存ができるプリセットと同じものです。スロット 1 が右、スロット 2 が左です。プログラムチェンジメッセージを 0 で送信すると、ペダルを「ライブモード」で呼び出します。プリセットトグルスイッチが真ん中のときと同じ設定です。

MIDI を使ったプリセットの保存

MIDI を介してプリセットを保存するには、本体の TAP と BYPASS スイッチを同時に押しながらプログラムチェンジメッセージを送信します。例えば、両方のスイッチを押しながらプログラムチェンジメッセージの 45 を送信すると、現在の設定がプリセットスロットの 45 に保存されます。本体のトグルスイッチで呼び出せるプリセットは 1 と 2 のみですが、MIDI を使うと 122 までのスロットを使用できます。

MIDI クロック (MIDI ビートクロック)

Warped Vinyl は MIDI クロックメッセージを受け取ることが出来ます。MIDI クロックは 4 分音符を 24 までの MIDI メッセージに細分化します。サブディビジョンを選択するトグルスイッチで、4 分音符、8 分音符、付点 8 分音符、3 連符、6 連符、16 分音符のディビジョンを選択できます。

コントロールチェンジメッセージ

Warped Vinyl は MIDI コントロールチェンジメッセージで操作をすることが出来ます。

パラメーター	CC#	説明
Tone	14	0 を送信すると、ノブを左に回しきると同じになり、127 を送信すると完全に右に回しきりになります。 中間の値は全てノブの中間の位置に対応します。
Lag	15	
Mix	16	
RPM	17	
Depth	18	
Warp	19	
Ramp	20	
Midi タップディビジョン	21	値が 0 の時に全音符、1 で 2 分音符、2 で付点 8 分、3 で 4 分音符、4 で 8 分音符、5 で 16 分音符となります。
MIDI Clock Ignore	51	0 を送信すると MIDI クロック信号を無視します。127 に設定すると MIDI クロック信号が有効になります。デフォルトでは MIDI クロック信号は有効です。
Tap スイッチ	93	何らかの値を送信すると、タップスイッチが踏まれたと認識します。MIDI を使ってタップテンポを設定するときに使用します。

エクスプレッション	100	0を送信するとエクスプレッション・ペダルが完全にオフと認識します。127でペダルを最大まで踏み込んだ状態になります。その間の数値は全てペダルの中間に対応します。エクスプレッションペダルでコントロールするパラメーターは本体の dip スイッチで設定します。
バイパススイッチ	102	127を送信すると最後に使っていたチャンネルをオンにします。0で両方のペダルをバイパスします。 ペダルがオンの状態で127を送信すると、現在の ramp を全てリセットします。